

2016年1月27日自然エネルギー実践講座における、質問への回答

同講座にて、「コープさっぽろルーシー店木質ペレットボイラー導入事業について」とお話をさせて頂きましたが、その場で答えられなかった質問に対する、回答を下記にまとめましたので、ご参照下さい。

1、何故、木質ペレットボイラーを選択したのですか？チップボイラーの選択肢はなかったのですか？

⇒ チップ燃料とペレット燃料を比較した時に、一番の違いは「製品の均一化」です。ペレット燃料は、当時からある程度、標準化された製品として流通していました。また、木質でありながら、自動化が進んでいたペレット燃料による、木質ペレットボイラーを選択しました。

例) 燃料の自動供給としてスクリュウ方式を採用していますが、チップでは、自動供給できないなど。

2、何故、ドイツ製のボイラーを選択したのですか？日本製の選択肢はなかったのですか？

⇒ 当時、条件に見合った日本製の木質ペレットボイラーは、ありませんでした。
しかし、今回の様に部品調達において、ドイツから取寄せるケースが発生する事もあり今後の展開については、再度協議の上、日本製の検討もしていきたい。また、どうしても海外製品を使用する場合は、破損頻度の多い箇所については、ストックしていく事も検討していきたい。

3、どんなエネルギーを使用し着火していますか？

⇒ 電気で着火しています。木質ペレットボイラーの種類の中では、一部灯油で着火するタイプもあると聞いたことがありますが、多くは電気式になります。

4、大凡の工事費を教えてください。

⇒ 総事業費で約3,200万円の内、ボイラー本体で1,700万円～1,800万円程度です。

5、「ペレットボイラー」の名称は正しくないのでは？

⇒ 講座の中では、都合上「ペレットボイラー」とお話ししましたが、「木質ペレットボイラー」と表記していくよう心掛けます。

以 上